



Syslog

- [Syslog, 1 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager GUI を使用した Syslog の設定, 2 ページ](#)

Syslog

Cisco UCS Manager はシステム ログ、つまり syslog メッセージを生成して Cisco UCS Manager システム内で発生した次のインシデントを記録します。

- 定期的なシステム操作
- 障害およびエラー
- 重大なおよび緊急な事態

syslog のエントリには、障害、イベント、監査の 3 種類があります。

各 syslog メッセージは、メッセージを生成した Cisco UCS Manager プロセスを特定し、発生したエラーまたはアクションの簡単な説明が提供されます。syslog は、定期的なトラブルシューティングやインシデントへの対処および、管理にも役立ちます。

Cisco UCS Manager は、syslog メッセージを内部的に収集し、記録します。syslog デーモンを実行している外部 syslog サーバにこれらを送信できます。中央の syslog サーバへロギングは、ログおよびアラートの集約に役立ちます。モニタされる syslog メッセージには、DIMM の問題、装置の障害、熱の問題、電圧の障害、電源の問題、高可用性 (HA) クラスタの問題、およびリンクの障害が含まれます。

Syslog メッセージには、イベントコードおよび障害コードが含まれています。Syslog メッセージをモニタするために、Syslog メッセージフィルタを定義できます。これらのフィルタは、選択した基準に基づいて syslog メッセージを解析できます。フィルタを定義するために、次の条件を使用できます。

- イベントコード別または障害コード別：モニタする特定のコードだけを含めるための解析ルールを使ったフィルタを定義します。これらの条件に一致しないメッセージは廃棄されません。

- 重大度別：特定の重大度を持つ Syslog メッセージをモニタするための解析ルールを使ったフィルタを定義します。syslog の重大度は OS の機能に応じた個別指定が可能で、簡易的な概要からデバッグ用の詳細情報に至るまでのメッセージのロギングと表示が行えます。

シスコデバイスでは、これらのログメッセージを UNIX スタイルの syslog サービスに送信できます。syslog サービスは、簡単なコンフィギュレーションファイルに従って、メッセージを受信してからファイルに保存するか、出力します。この形式のロギングは、ログの保護された長期的な保存場所を提供できるので、シスコデバイスでの最適な方法です。

Cisco UCS Manager GUI を使用した Syslog の設定

手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインで [Admin] をクリックします。
- ステップ 2 [All] > [Faults, Events, and Audit Log] の順に展開します。
- ステップ 3 [Syslog] をクリックします。
- ステップ 4 [Local Destinations] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Console] セクション	
[Admin State] フィールド	<p>Cisco UCS でコンソールに syslog メッセージを表示するかどうかを指定します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : Syslog メッセージはコンソールに表示され、ログに追加されます。 • [Disabled] : Syslog メッセージはログに追加されますが、コンソールには表示されません。
[Level] フィールド	<p>このオプションが [Enabled] である場合、表示する最も低いメッセージレベルを選択します。Cisco UCS はコンソールにそれ以上のレベルのメッセージを表示します。レベルは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Emergencies • Alerts • Critical
[Monitor] セクション	

名前	説明
[Admin State] フィールド	<p>Cisco UCS でモニタに syslog メッセージを表示するかどうかを指定します。この状態は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : Syslog メッセージはモニタに表示され、ログに追加されます。 • [Disabled] : Syslog メッセージはログに追加されますが、モニタには表示されません。 <p>[Admin State] がイネーブルの場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。</p>
[Level] ドロップダウン リスト	<p>このオプションが [Enabled] である場合、表示する最も低いメッセージレベルを選択します。モニタにはそのレベル以上のメッセージが表示されます。レベルは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging
[File] セクション	
[Admin State] フィールド	<p>Cisco UCS がファブリック インターコネクットのシステム ログにメッセージを保存するかどうかを指定します。この状態は次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Enabled] : メッセージはログ ファイルに保存されます。 • [Disabled] : メッセージは保存されません。 <p>[Admin State] がイネーブルの場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。</p>

名前	説明
[Level] ドロップダウン リスト	<p>システムに保存するメッセージの最も低いレベルを選択します。Cisco UCS は、ファブリック インターコネクトのファイルにそのレベル以上のメッセージを保存します。レベルは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging
[Name] フィールド	<p>メッセージが記録されるファイルの名前。</p> <p>名前には16文字以内の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および (ピリオド) が使用できます。デフォルトの名前は <code>messages</code> です。</p>
[Size] フィールド	<p>Cisco UCS Manager が最新のメッセージで最も古いメッセージを上書きし始めるまでの最大ファイルサイズ (バイト単位)。</p> <p>4096 ~ 4194304 の整数を入力します。</p>

ステップ 5 [Remote Destinations] 領域で、次のフィールドに情報を入力し、Cisco UCSコンポーネントにより生成されたメッセージを保存できる最大3つの外部ログを設定します。

名前	説明
[Admin State] フィールド	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イネーブル • [Disabled] <p>[Admin State] がイネーブルの場合は、Cisco UCS Manager GUI に、このセクションの残りのフィールドが表示されます。</p>

名前	説明
[Level] ドロップダウン リスト	<p>システムに保存するメッセージの最も低いレベルを選択します。リモートファイルにそのレベル以上のメッセージが保存されず。レベルは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Emergencies • Alerts • Critical • Errors • Warnings • Notifications • Information • Debugging
[Hostname] フィールド	<p>リモートログファイルが存在するホスト名またはIPアドレス。</p> <p>(注) IPv4 または IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合は、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、DNS 管理が [local] に設定されている場合、DNS サーバを Cisco UCS Manager に設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていないか、DNS 管理が [global] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。</p>
[Facility] ドロップダウン リスト	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • local0 • local1 • local2 • local3 • local4 • local5 • local6 • local7

ステップ 6 [Local Sources] エリアで、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Faults Admin State] フィールド	このフィールドが [enabled] の場合、Cisco UCS はすべてのシステム障害をログに記録します。
[Audits Admin State] フィールド	このフィールドが [enabled] の場合、Cisco UCS はすべての監査ログ イベントをログに記録します。
[Events Admin State] フィールド	このフィールドが [enabled] の場合、Cisco UCS はすべてのシステム イベントをログに記録します。

ステップ 7 [Save Changes] をクリックします。
